

高崎クリーン SDGs宣言書

- 株式会社高崎クリーンは、「心地よい環境を創造」「子どもたちと地球の笑顔を守り続ける」「社員や関係する方の幸せと成長を実現」という経営理念のもと、産業廃棄物の適正処理と資源循環の推進を通じて、地域社会と地球環境の保全に貢献してまいりました。
- 地球規模での環境問題や社会課題が深刻化する中、私たちは国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」を、当社の経営の根幹を成す羅針盤と位置づけ、事業活動そのものが社会課題の解決に繋がるものと捉えています。
- 本日当社は以下の重点目標を掲げ、全社一丸となってSDGsの達成に向けた取り組みを加速させていくことを宣言します。

2025年11月14日

株式会社高崎クリーン 代表取締役 高崎文孝

【最優先目標:本業と地域課題の核心】



■SDG 12「つくる責任 つかう責任」

- 廃棄物の適正処理・再資源化・リサイクル率向上(ターゲット12.4, 12.5)
- 電子 manifests 導入による効率化・透明性確保(12.6)
- 社内SR勉強会、地域講座による環境教育推進(12.8)



■SDG 13「気候変動に具体的な対策を」& SDG 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

- AI活用の輸送ルート最適化、エコドライブ徹底による燃料削減(13.2, 7.3)
- EVトラック導入・太陽光発電利用など再エネ活用(7.2, 13.2)
- 気候変動やエネルギー教育の推進(13.3)



【企業の持続的成長と競争力強化】



■SDG 8「働きがいも 経済成長も」

- 魅力ある給与制度・福利厚生拡充・休日増加(8.5)
- 安全衛生教育・KYT・GPS管理による労働災害削減(8.8)
- 女性・高齢者・障がい者の雇用促進と多様性活用(8.2, 8.5)



■SDG 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

- GPS・ドライブレコーダー・AI導入による効率化(9.4)
- 新リサイクル技術開発、RPF製造やバイオマス発電の検討(9.5)

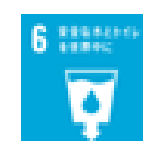
【横断的・促進的目標】



■SDG 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- 自治体・金融機関・教育機関・NPOとの連携強化(17.16, 17.17)
- SDGs取り組みの透明性ある情報開示と社内外対話(17.16)
- 地域清掃活動、不法投棄撤去、リサイクルイベント協力(17.16, 17.17)

【地域課題に直結する目標】



■SDG 6「安全な水とトイレを世界中に」

- 廃棄物輸送時の漏洩・飛散防止と中間処理施設での水質管理徹底(6.3)
- 水辺清掃活動を通じた地域住民の環境意識向上(6.b)